広島での体験学習

長久手中学校
一年
島
涼佳

私が体験学習で学んだことが、皆さんにどう伝わるか分かりません。ですが自分なりに考え、感じたことを、ここに示したいと思います。

一つ目に思ったのは、「恐怖」です。これは、広島平和記念資料館に行ったときに、思いました。たくさんの展示物の中には、大火傷をして、皮膚がただれてしまった人や、服や髪に火が付いてしまい、川に身を投げ出した人、目の前で起っている出来事に絶望する人などの写真や絵などがありました。その他にも、被爆したときに着ていた服があったり、竹で作られた水筒があったりしました。人々の中には、苦しくて痛くて、死にたい、死なせてくれと願う人もいたことでしょう。もし私が当時産まれていて、「生」と「死」どちらを選ぶかと言われたら、「死」を選んでいたかもしれません。そう考え、とても恐怖

20 × 20

を感じました。

二つ目に思ったのは、「平和」です。先ほどの「恐怖」とは異なりますが、平和はすばらしいと思いました。今は、戦争が無く、原爆が落とされることもなく、少しずつですが世界平和に近づいていると思います。とても安全な世の中とまではいきませんが、何十年、何百年前よりは平和になっていると思います。食べ物に困ることも、毎日の恐怖におそわれることも減ってきているので、もっと素敵な世の中になってほしいです。

私は体験学習に行って学んで得た知識をただ覚えるだけでなく少しでも、世の中の平和のために貢献していきたいです。

20 × 20